

Q そもそも世界遺産って？

1 「世界遺産条約」成立のきっかけとなった遺跡はどこでしょうか？

1. ヴェルサイユ宮殿 (フランス) 2. ヌビア遺跡 (エジプト) 3. ストーンヘンジ (イギリス) 4. イースター島 (チリ)

2 世界遺産第1号は何カ所だったのでしょうか？

1. 1カ所 2. 3カ所 3. 7カ所 4. 12カ所

3 世界遺産の最も多い国はどこでしょうか？

1. イタリア 2. 日本 3. アメリカ 4. ドイツ

メモ・世界遺産 ユネスコの世界遺産条約に基づき、世界遺産リストに登録された遺跡や自然など、人類が共有すべき普遍的な価値をもつものを指す。各国からの申請を受け、ユネスコの世界遺産委員会が審査をして毎年10件前後の登録が発表されてきた。現在、851件が登録されているが、加盟185カ国のうち44カ国にはまだ世界遺産がない。文化、自然、複合の3カテゴリーに分類された世界遺産は、各国の責任で保護が義務付けられるが、存続が危ぶまれるものは危機遺産に指定される。また、1994年に自然遺産として登録されたオマーンのアラビアオリックスの保護地区は、オマーン政府が資源開発のために保護地区を大幅に縮小することを決定したことを受け、2007年に初めて登録が抹消された。



1 答え…… (2)

【解説】1960年に竣工したアスワン・ハイ・ダム建設によって、アブシンベル神殿 (写真) のあるヌビア遺跡が水没することを危惧したユネスコは、遺跡救済キャンペーンを開始。これが契機となって、歴史的価値のある遺跡や建造物、自然を、国際的な組織の管理下で保護しようという機運が高まり、1972年の第17回総会で「世界遺産条約」が成立した。

2 答え…… (4)

【解説】1978年に、第1回登録の世界遺産が発表された。記念すべき第1号となったのは、メサ・ヴァード国立公園、イエローストーン国立公園 (以上アメリカ)、ランス・オー・メドー国立史跡、ナハニ国立公園 (以上カナダ)、クラクフの歴史地区、ヴェリチカ岩塩坑 (以上ポーランド)、シミエン国立公園、ラリベラの岩の聖堂群 (以上エチオピア)、ガラパゴス諸島、キトの市街 (以上エクアドル)、ゴレ島 (セネガル)、アーヘンの大聖堂 (ドイツ) の計12カ所だった。

3 答え…… (1)

【解説】2008年6月の時点で、最も世界遺産の多い国は41件のイタリア。2位は40件のスペイン、3位は34件の中国となっている。